

本年もよろしくお願いいたします。昨年は、ここ数年と同様の酷暑が続き、農作物の高温障害などの影響が心配されました。また、昨年末からは、米の流通量が減少し、令和の米騒動と言われるようになり、米価が高騰し、令和7年度米の作付拡大に期待が寄せられました。

角田市内の令和7年産主食用米の作付は、2,308ha、前年比で239haの大幅な増加となり、1等米比率は約86%となり、平年並みの作柄を維持しました。園芸作物は、高

いところの一つに風景があります。ここで生まれ育つて長く住んでいる方達は思わないかもしませんが、自然と田園風景、趣がある商店街などは雰囲気があります。交通渋滞とは無縁で、ゆったりと暮らすにはとても良いと感じました。

生活での印象は「夜がすく静かでご飯美味しい」でした。埼玉県で

の生活は夜でも角田ほど静かになることはなく、スーパーのお弁当も角

田ほど美味しいとは思いませんでし

た。

また、角田市に住んで間もない

ことを

お裾分けしていただきた野菜を新鮮で美味しい、角田市の方々の気持

持ちに感動し、移住して良かつたと

温や水不足による影響が見られたもの、梅や梨などの果樹類は順調に生育したようです。近年の気候変動の中で、農家の皆さんがこれまでの知見を活かし、県など関係機関の指導や情報に耳を傾け、生産に前向きに取り組まれた成果が現れたものと、心から敬意を表します。

本年もよろしくお願いいたします。昨年は、ここ数年と同様の酷暑が続き、農作物の高温障害などの影響が心配されました。また、昨年末か

らは、米の流通量が減少し、令和の米騒動と言われるようになり、米価が高騰し、令和7年度米の作付拡大に期待が寄せられました。

角田市内の令和7年産主食用米の作付は、2,308ha、前年比で239haの大幅な増加となり、1等米比率は約86%となり、平年並みの作

柄を維持しました。園芸作物は、高

い手が参加して見直し作業を進めて

「乾田直播」等新栽培法の検証・普及に40億円、米の生産量抑制度向上に8億円、その他重点施策として、物流革新、水田活用の直接支払交付金を令和5年度同規模の2,760億円を計上して、主食用米以外の作物生産を後押しするほか、政府備蓄米買い入れの再開を予定しているとのことです。また不透明なとのことです。いまだ不透明なとの生産と米価安定は懸案事項です。このもあり、とりわけ持続可能な米の生産と米価安定は懸案事項です。このように、公社の事業の柱である次世代育成等にかかる見直しを行なっています。就農希望者を対象とした「土の塾」、若手農業経営者の育成を目的とした「風の塾」、市内と都市部の小学生等が農業を体験する「農業体験学習」について、時代に即した事業となるよう、多世代の担

ります。

このような中、公社の事業の柱である次世代育成等にかかる見直しを行なっています。就農希望者を対象とした「土の塾」、若手農業経営者の育成を目的とした「風の塾」、市内と都市部の小学生等が農業を体験する「農業体験学習」について、時代に即した事業となるよう、多世代の担

ります。

本年も角田市の持続可能な農業のために、人づくりをはじめ関連事業を推進してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

います。また、公社では新たな地域おこし協力隊員1名を昨年7月から受け入れ、将来の就農を見据えて梨の栽培技術等の習得に取り組んでいます。12月には市内農業法人に新たに地域おこし協力隊員1名が着任し、技術習得、ネット販売、就農を目指すとしています。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、



絆交流事業の様子

（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多世代の担

ります。

本年も角田市の持続可能な農業のために、人づくりをはじめ関連事業を推進してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

います。また、公社では新たな地域おこし協力隊員1名を昨年7月から受け入れ、将来の就農を見据えて梨の栽培技術等の習得に取り組んでいます。12月には市内農業法人に新たに地域おこし協力隊員1名が着任し、技術習得、ネット販売、就農を目指すとしています。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多世代の担

ります。

本年も角田市の持続可能な農業

のために、人づくりをはじめ関連事業

を推進してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

います。また、公社では新たな地域おこし協力隊員1名を昨年7月から受け入れ、将来の就農を見据えて梨の栽培技術等の習得に取り組んでいます。12月には市内農業法人に新たに地域おこし協力隊員1名が着任し、技術習得、ネット販売、就農を目指すとしています。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多世代の担

ります。

本年も角田市の持続可能な農業

のために、人づくりをはじめ関連事業を推進してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

います。また、公社では新たな地域おこし協力隊員1名を昨年7月から受け入れ、将来の就農を見据えて梨の栽培技術等の習得に取り組んでいます。12月には市内農業法人に新たに地域おこし協力隊員1名が着任し、技術習得、ネット販売、就農を目指すとしています。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多世代の担

ります。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多世代の担

ります。

本年も角田市の持続可能な農業

のために、人づくりをはじめ関連事業を推進してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

います。また、公社では新たな地域おこし協力隊員1名を昨年7月から受け入れ、将来の就農を見据えて梨の栽培技術等の習得に取り組んでいます。12月には市内農業法人に新たに地域おこし協力隊員1名が着任し、技術習得、ネット販売、就農を目指すとしています。

令和8年は711万トン（前年比37万トン減）の提示を決定。これは令和6年比で32万トンの増産とのことです。なお、来年6月末の民間在庫量は過去最大の水準が見込まれることから、今後の動向に注意が必要です。また、農水省の令和8年度予算概要では、新たな栽培法の普及（対高温・多収穫品種への切り替え、

新規品種への切り替え、多

～西根地区農業体験交流事業～  
10月18日（土）、西根地区交流田で、日黒区立月光原小学校の児童及び保護者、北郷小学校と北角田中学の有志、合わせて77名が参加して、稲刈り体験交流事業が行われました。当日は、前日の雨で田んぼもぬかるんでいる状況でした。児童たちは田んぼに足を取られて、作業しにくい状況でしたが、最後まであきらめず、稻刈りを行いました。

稻刈りを終えた後には、力工を捕まえるなど、自然を満喫していました。

JA青年部北郷支部の部員から、鎌の使い方について説明を受けた児童たちは、最初はぎこちない感じでしたが、慣れてくると順調に大きく育った稻を刈り取っていました。刈り取った稻はコンバインで脱穀を行いました。作業後、児童たちは、農業体験学習の修了証書が授与されました。



秋田県種苗交換会の様子

の農業者団体もいました。展示されていた農業機械は、スマート農業に特化した機械を中心で、参加した会員たちは作業効率の向上、労力削減を可能とし、より使い勝手の良い機械の情報やカタログ等の収集に各ブースへと足を運び、熱心に説明を聞いていました。

角田市農業経営者会議では、今後もこのような展示会への参加、研修会及び講演会等を開催し、個々の農業経営に対する新たな知識、情報等を会員をはじめ、市内の担い手農家に対して発信、共有しながら、角田市の農業発展に努めて参ります。

この催しは、「JAグループ秋田」を中心にして毎年、秋田県内で開催されており、今回は「枝野地区担い手農家協議会」（門馬希道会長、会員10名）との合同事業として最新農業機械及び農業技術・資材等の情報収集の場として毎年、秋田県内に開催されており、今回は「枝野地区担い手農家協議会」（門馬希道会長、会員10名）との合同事業として開催し、14名が参加いたしました。

秋田県種苗交換会では、農業機械化ショールーム、JA全農あきた資材展、農業関連資材等展示販売ブース、ドローンモーフライト等、秋田県内外から50を超える関連企業が集結した大規模な展示会が開催されていました。当口は雨天にも関わらず、大勢の来場者が集まり、角田市内から来場していた他



～新・農業人フェアの様子～

～農林水産FESTの様子～

～西根地区農業体験交流事業～  
10月18日（土）、西根地区交流田で、日黒区立月光原小学校の児童及び保護者、北郷小学校と北角田中学の有志、合わせて57名が参加して、稲刈り体験交流事業が行われました。当日は、前日の雨で田んぼもぬかるんでいる状況でした。児童たちは田んぼに足を取られて、作業しにくいい状況でしたが、最後まであきらめず、稻刈りを行いました。

稻刈りを終えた後には、力工を捕まえるなど、自然を満喫していました。



西根地区農業体験交流事業の様子



北郷小学校稻刈り体験の様子



金津小学校区稻刈り体験交流の様子



角田絆交流事業の様子

## あぐくま農学校農業体験学習「秋」



### ～北郷小学校体験学習～

9月26日（金）、北郷小学校の5年生20名による稻刈り体験学習が行われました。連日続いた残暑も落ち着き、児童たちにとって作業しやすい気候になりました。

JJA青年部北郷支部の部員から、鎌の使い方について説明を受けた児童たちは、最初はぎこちない感じでしたが、慣れてくると順調に大きく育った稻を刈り取っていました。刈り取った稻はコンバインで脱穀を行いました。作業後、児童たちは、農業体験学習の修了証書が授与されました。

交流田では、首を垂れる程に実った稻穂が児童たちを迎えました。実行委員会から鎌の使い方について説明を受けた児童たちは、身長の半分ほどまで成長した稻を競うように刈り取っていました。脱穀するため腕いっぱいに稻を抱えて運ぶ児童たちは、楽しそうに笑顔を浮かべていました。

当口は天候に恵まれ、少し汗ばむ陽気となりました。春に一生懸命植えた稻は大きく成長し、児童たちの飲み込みの早さに驚かされました。稲刈り体験終了後、コンバインの刈取作業を児童と保護者は食い入るよう見していました。

角田絆交流事業～  
10月4日（土）、北郷地区交流田で、日黒区立緑ヶ丘小学校児童及び保護者、北郷小学校の有志、合わせて43名による角田絆交流事業の稲刈り体験が行われました。

当口は天候に恵まれ、少し汗ばむ陽気となりました。春に一生懸命植えた稻は大きく成長し、児童たちの飲み込みの早さに驚かされました。稲刈り体験終了後、コンバインの刈取作業を児童と保護者は食い入るよう見していました。

### ～角田絆交流事業～